



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年6月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成28年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の業績（平成27年9月1日～平成28年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	13,122	0.5	227	△3.1	201	△2.4	80	△13.6
27年8月期第3四半期	13,053	△3.3	234	△47.1	206	△50.7	92	△55.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	31.59	30.74
27年8月期第3四半期	36.59	35.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第3四半期	10,159	2,242	21.6
27年8月期	9,268	2,200	23.3

(参考) 自己資本 28年8月期第3四半期 2,198百万円 27年8月期 2,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年8月期	—	0.00	—		
28年8月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	1.3	250	18.6	218	27.4	60	11.8	23.69

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期3Q	2,532,400株	27年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	28年8月期3Q	－株	27年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期3Q	2,532,400株	27年8月期3Q	2,531,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、個人消費は節約志向の高まりに株価の低迷も加わって、総じて勢いを欠いた状況が続きました。

このような状況下、当社は、不振店対策、オリジナルブランド商品ハッピーキャンドルのブランド強化、EC(ネット通販)の本格稼働、販売費及び一般管理費の管理強化を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。

販売活動の施策といたしましては、4店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや改装・移転店舗における特別セール等の販売活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

ECにつきましては、チャンネル戦略として9月にAmazon店、10月に楽天市場店、12月にLINE店をオープンいたしました。また、メールマガジンの配信及び広告宣伝を強化し、Webサイトの精度と商品力の向上に努めました。

商品施策といたしましては、客数増加に向けた取り組みとして、売り場レイアウトの変更を実施するとともに、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化を図ってまいりました。ハッピーキャンドル商品については、秋冬・春夏の新作商品を投入するとともに、雑誌掲載による広告宣伝とノベルティ販促等による販売強化を行いました。また、ハッピーキャンドルブランドサイトをリリースしブランドの強化に努めてまいりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品や低価格商品の展開を強化したことで売上高2,229,132千円(前第3四半期累計期間比2.6%増)、時計は国産ブランド時計の販売が好調だったものの、海外ブランド時計を中心に高額商品の需要が落ち込んだことで売上高3,420,374千円(同2.3%減)、バッグ・小物は手ごろな価格帯の商品やメンズブランド商品の展開を強化したことで売上高7,473,312千円(同1.2%増)となりました。

店舗展開といたしましては、9月に広島祇園店(広島県)、磐田店(静岡県)、11月に新三郷店(埼玉県)、4月に常滑店(愛知県)の計4店舗を新規出店いたしました。常滑店はインバウンド需要が見込まれる中部国際空港に隣接したイオンモール常滑への出店であります。一方、不振店対策として1月に富津店(千葉県)、3月に桶川店(埼玉県)・鷺宮店(埼玉県)の計3店舗を閉店いたしました。これらにより、当第3四半期末の店舗数は66店舗となりました。

店舗改装につきましては、前期より着工いたしました千葉ニュータウン店、盛岡店、筑紫野店が9月に改装オープンいたしました。また、和歌山店、つくば店及び秋田店について好立地の区画への移転改装を実施したほか、時計専門の小型店舗であった幕張新都心店をフルラインの品揃えとなる中型店舗に移転増床いたしました。このほか和泉店、茨木店、東松山店、むさし村山店を通常改装するとともに、主力大型店において売り場レイアウト変更等の小規模改装を実施いたしました。これら新規の出店と改装については、既存什器設備の活用等により出店・改装費用の抑制に努めました。

さらに、韓国子会社(非連結)が運営する韓国D-CUBE店について、賃貸借契約期間満了(平成28年5月)をもって閉店いたしました。これにより、当第3四半期累計期間において、韓国子会社に対する投資損失引当金繰入額26,658千円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は13,122,819千円(前第3四半期累計期間比0.5%増)、営業利益は227,248千円(同3.1%減)となりました。経常利益は201,369千円(同2.4%減)、四半期純利益は80,002千円(同13.6%減)となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,270,423千円となり、前事業年度末と比較して879,401千円増加しております。これは主として、現金及び預金が171,790千円、商品が824,635千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,888,862千円となり、前事業年度末と比較して11,880千円増加しております。これは主として、投資その他の資産のその他が78,859千円、投資損失引当金が26,658千円減少したものの、建物が71,876千円、工具、器具及び備品が29,747千円、敷金及び保証金が21,202千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,866,998千円となり、前事業年度末と比較して656,644千円増加しております。これは主として、仕入債務(支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計)が344,485千円、1年内返済予定の長期借入金が221,698千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、4,049,555千円となり、前事業年度末と比較して192,694千円増加しております。これは主として、長期借入金が100,579千円、その他が95,130千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,242,732千円となり、前事業年度末と比較して41,942千円増加しております。これは主として、利益剰余金が42,016千円増加したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月29日に公表いたしました平成28年8月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,656,926	2,828,716
売掛金	805,450	731,909
商品	3,622,642	4,447,277
貯蔵品	108,697	111,407
その他	197,305	151,113
流動資産合計	7,391,022	8,270,423
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	655,899	727,776
構築物(純額)	28	23
工具、器具及び備品(純額)	319,857	349,605
リース資産(純額)	20,992	14,435
建設仮勘定	486	-
有形固定資産合計	997,262	1,091,841
無形固定資産		
ソフトウェア	18,021	25,226
リース資産	8,342	2,430
その他	126	-
無形固定資産合計	26,489	27,657
投資その他の資産		
関係会社株式	88,159	88,159
敷金及び保証金	525,447	546,649
その他	259,749	180,890
貸倒引当金	△1,436	△986
投資損失引当金	△18,690	△45,349
投資その他の資産合計	853,229	769,363
固定資産合計	1,876,981	1,888,862
資産合計	9,268,004	10,159,285

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,786	970,965
電子記録債務	344,022	439,328
1年内返済予定の長期借入金	1,660,962	1,882,660
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	11,991	54,506
賞与引当金	54,920	81,372
ポイント引当金	5,357	17,390
その他	391,314	410,775
流動負債合計	3,210,353	3,866,998
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	3,301,741	3,402,320
資産除去債務	96,232	103,217
その他	448,886	544,017
固定負債合計	3,856,860	4,049,555
負債合計	7,067,214	7,916,553
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,526,621	1,568,638
株主資本合計	2,164,766	2,206,783
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△205	△8,557
評価・換算差額等合計	△205	△8,557
新株予約権	36,228	44,506
純資産合計	2,200,790	2,242,732
負債純資産合計	9,268,004	10,159,285

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	13,053,827	13,122,819
売上原価	9,846,346	9,922,516
売上総利益	3,207,481	3,200,303
販売費及び一般管理費	2,972,789	2,973,055
営業利益	234,692	227,248
営業外収益		
受取利息	1,246	1,250
受取配当金	448	484
業務受託料	994	1,010
受取保険金	1,108	352
その他	2,507	2,225
営業外収益合計	6,306	5,322
営業外費用		
支払利息	32,285	29,866
その他	2,192	1,334
営業外費用合計	34,478	31,201
経常利益	206,521	201,369
特別損失		
固定資産廃棄損	19,476	15,796
減損損失	-	15,095
店舗閉鎖損失	-	5,429
投資損失引当金繰入額	-	26,658
特別損失合計	19,476	62,980
税引前四半期純利益	187,044	138,388
法人税、住民税及び事業税	98,931	82,254
法人税等調整額	△4,525	△23,867
法人税等合計	94,406	58,386
四半期純利益	92,638	80,002



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。